

(別紙4(2))

事業所名 グループホームひまわり

## 目標達成計画

作成日: 平成 22 年 11 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域との関わり、利用者支援に於いて、法人の理念を基本としつつも、事業所のおかれている環境に即した具体的な目標を設定する必要の段階にきている。	職員の日々の介護の指針となる事業所の環境に即した独自の理念の構築。	地域における事業所の役割や可能性の整理・検討、利用者・利用者家族とのかかわりの中で、何が求められ必要とされているのかを話し合い、事業所独自の理念を作り上げ、日々の介護の指針とする。	3ヶ月
2	35	事業所も地域の一員として防災に関する協力体制が地域住民との間で出来ている。しかし、計画はあるものの合同防災訓練はまだ実現出来ない現状、次の定期防災訓練での実現を目指している。	来年度の防災訓練計画にて地域住民参加の合同防災訓練を計画実施する。	運営推進会議や地区の住民会議を通して、計画実施の為の具体的内容をまとめていく。	6ヶ月
3	10	利用者・利用者家族の苦情や要望の収集をおこない、サービス向上に努めているが、記録や職員の情報共有面で更なる工夫と活用が求められる。	利用者本位の視点で職員は利用者・利用者家族の要望等の収集を積極的におこない、サービス向上に活かす。	利用者、利用者家族の言動が「気付き」となる為の職員の質向上に向けた研修参加、勉強会実施の継続。情報を文章化し共有する為の記録用紙の活用と家族アンケートの実施などからより多くの要望や提案を集める。	6ヶ月
4	4	運営推進会議は定期的実施され、サービス向上に活かされているが、利用者家族の参加が得られていない。	運営推進会議への利用者・利用者家族の参加からより多くの提案や要望が出され、サービス向上に活かされる。	運営推進会議への利用者家族の参加を促してはいるが結果が得られていない。再度、主旨を説明して個別に対応することで参加を推進していく。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。